

3月議会

21年度予算を良くする「予算組みかえ案」を提案

自民・公明・民主などの反対で実らず

日本共産党

日本共産党羽村市議団は3月議会において、平成21年度予算を良くするための「予算組みかえ案」を他会派の賛成も得ながら提案しました。

羽村駅西口区画整理につかう予算の一部をまわして、福祉・教育・くらしを応援しながら、市の貯金（基金）を温存しようという内容です。

残念ながら、新政会（自民党系）、公明党、民主党などの反対で提案は実現しませんでした。

予算組みかえ案の目的

今回提案がなされたのは、一般会計にたいする「予算組みかえ案」です。しかし実際には、一般会計から特別会計の一つである「羽村駅西口区画整理会計」へまわるお金を中心とした提案となっているため、分かりやすさのために、羽村駅西口区画整理会計の側からみた説明とします。

住民の大きな反対の声があげられている「羽村駅西口区画整理事業」は、ただちに一時中止をし、もう一度住民の声をよく聞いて抜本的に町づくりのやり方を見直すことが必要です。そのために開発をすすめる予算はストップをする必要があります。しかし、すぐに全ての予算を無くすことは無理があります。

また、切実な市民のくらしを守るために、福祉や子育て支援の充実や、教育の充実など、もっと予算をまわして充実すべき施策が数多くあります。

同時に、不況の影響で市に入る税金が大きく減るもと、市

の貯金（基金）を温存したり、不必要な借金をおこなわないようにすることも必要なことです。

これらを満たすことが「予算組みかえ案」に求められます。

予算組みかえ案の内容

組み換え案の内容は、次のとおりです。今年度、羽村駅西口区画整理には約4.69億円のお金がかかわることになっています。そのうちわけは、右図のとおりです。

そのうち、(A)と(B)の一部、また「区画整理事業権利者の会への補助金」（30万円。図では省略）を使い、福祉・教育などを充実しながら、使おうとしていた市の貯金（基金）5,400万円は使わずに、今後のために温存することにします。

それから、区画整理事業のために東京都から市へ渡されたお金3,400万円は都に返金して、有効に使ってもらうことにします。（以上、右図の）

また、これに付随して、(B)の残りの部分（1億4千万円）は、借金をして土地を買うことになっていますが、土地購入をすべて止めれば、借金しなくて済むことにつながります。（右図の）

こうして、予算の組みかえ案は、西口区画整理事業の見直し、福祉・教育などの充実、貯金（基金）の温存をおこないつつ、借金のストップにもつながる内容となっています。

この提案について、瀧島議員（新政会）は「単なるばらまき」、露木議員（公明党）は「西口区画整理事業は長・計にのっとった事業」、馳平議員（民主党）は「教育的見地からも財政のきびしさを子どもに教えるべき」などの理由で反対しました。

「予算組みかえ案」の内容など

西口区画整理事業につかう4.69億円

(A) 1.69億 開発をすすめる予算	(B) 1.56億 土地を買う予算	(C) 1.44億 人件費や借金返済など
------------------------	----------------------	-------------------------

この部分を福祉・教育などへ（約9,700万円）また、市の貯金を温存し（5,400万円）、都の補助金を返金（3,400万円）

土地を買うことをすべて止めれば、借金1.4億円をしなくて済むことになる。

ここはすでに無くせないののでそのまま。

これだけのことができます！

<福祉の充実>

- 心身障害者福祉手当の増額（年1.2万円の増額）
- 心身障害者（児）タクシー費用、ガソリン費用の増額（いづれも年3万円 3.5万円に）
- 難病患者福祉手当の増額（月7,500円 1万円）
- 原爆被害者見舞金の増額（年1万円 1.5万円）

<子育て支援の充実>

- 認証保育所、認定子ども園、保育ママさんなどを利用の保護者に対し、認可保育園の保育料との差額の70%を補助。
- 幼稚園の保護者に対し、助成金を月1,000円増額。
- 中学校の修学旅行補助金の増額（2万円 3万円に）
- 高校入学の奨学金を6万円 8万円にし、対象人数も拡大。

<教育の充実>

- 小学1年生の全クラスを40人以下学級 35人以下学級に。
- 小学校7校に学習サポーターを1名づつ増員。

<その他> 地域集会所に管理人を配置（小学校区に1ヶ所）